

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 7 月 21 日 (2016.7.21)

【公開番号】特開 2015-7171 (P2015-7171A)
 【公開日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-003
 【出願番号】特願 2013-132305 (P2013-132305)
 【国際特許分類】

C 08 L 67/02 (2006.01)

C 08 K 3/32 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

【F I】

C 08 L 67/02

C 08 K 3/32

C 08 J 5/18 C F D

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 6 月 3 日 (2016.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエステル樹脂組成物 A を溶融押出しし、シート状に成型した後に長手方向と幅方向の二軸に延伸する工程を有するポリエステルフィルムの製造方法であって、前記ポリエステル樹脂組成物 A 中に、アルカリ金属元素含有量 W A が 165 ppm 以上 850 ppm 以下、リン元素含有量 W P が 330 ppm 以上 2000 ppm 以下であるポリエステル樹脂組成物をポリエステル樹脂組成物 A に対して 5 質量% 以上 50 質量% 以下含有する事を特徴とするポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項 2】

前記ポリエステル樹脂組成物が、固有粘度 (I V) が 0.70 以上 1.00 以下のポリエステル樹脂組成物に、リン酸およびリン酸アルカリ金属塩を含む溶液またはスラリーを添加した後溶融混練して得られたものであり、かつ、前記溶液またはスラリーにおけるリン酸とリン酸アルカリ金属塩を合計した濃度が 3.0 質量% 以下である事を特徴とする、請求項 1 に記載のポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項 3】

前記リン酸およびリン酸アルカリ金属塩を含む溶液またはスラリーが、固有粘度 (I V) が 0.70 以上 1.00 以下のポリエステル樹脂組成物に対して、リン酸アルカリ金属塩を 7.0 モル / t を越えて 30.0 モル / t 以下、リン酸を 3.5 モル / t を越えて 35.0 モル / t 以下となるように添加する事を特徴とする、請求項 2 に記載のポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項 4】

ポリエステルフィルムを構成するポリエステル樹脂組成物中のアルカリ金属元素含有量 W A f が 20 ppm 以上 150 ppm 以下、リン元素含有量 W P f が 40 ppm 以上 500 ppm 以下、W A f / W P f が 0.3 以上 0.7 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の二軸配向ポリエステルフィルムの製造方法。

【請求項 5】

ポリエステルフィルムを構成するポリエステル樹脂組成物中に、マンガン元素を 1 0 0 p p m 以上 3 0 0 p p m 以下含有する 請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の二軸配向ポリエステルフイルムの製造方法。

【請求項 6】

ポリエステルフィルムを構成するポリエステル樹脂の末端カルボキシル基量が 2 5 当量 / t 以下である 請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の二軸配向ポリエステルフイルムの製造方法。
。